

教科

国語

学年

5

教科書

上

8

～

9

配当時数

2

配当月

4

～

4

大単元(題材名)	言葉で伝え合おう		
中単元(曲名)	わたしは木		
主領域／領域／内容の区分	A話すこと・聞くこと		
関連する道徳の内容項目	B相互理解・寛容		

【到達目標】

知・技	○ 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。
思・判・表	○ 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。
	○ 意見など自分の考えを話したり、それらを聞いて表現したりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 友達の言葉や動きに、自分の言葉や動きをつなげて楽しもうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。	(1)ア
思・判・表	○ 友達の意図に応じて、自分の考えをまとめて言葉や動きをつなげている。	A(1)エ (2)ア
	○ 隣の人が言った言葉から連想する言葉を言ったり、前の人の言葉や体から連想したものを体で表現したりしている。	A(1)エ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 友達の言葉や動きに、自分の言葉や動きをつなげて楽しんでいる。	

【関連する既習内容】

学年		内容
	年	
	年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
わたしは木①	1	○ グループで、隣の人が言った言葉から連想する言葉を、リズムに乗せて言い合う。	表現/共有
わたしは木②	1	○ 連想したことを、グループで一枚の絵を作るつもりで体で表す。	表現/共有
		・ 9ページの絵を参考に楽しむ。	表現/共有

教科

国語

学年

5

教科書

上下教科書ページ

教出

上

10

～

12

配当時数

2

配当月

4

～

4

大単元(題材名)	言葉で伝え合おう		
中単元(曲名)	水平線／うぐいす		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと		
関連する道徳の内容項目	D感動，畏敬の念		

【到達目標】

知・技	○ 比喻や反復などの表現の工夫に気づくことができる。
	○ 詩を音読したり朗読したりすることができる。
思・判・表	○ 情景や詩の全体像を具体的に想像したり，表現の効果を考えたりすることができる。
	○ 詩を読み，内容を説明したり，自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ すぐれた叙述に目を向け，「水平線」「うぐいす」の世界を味わいながら，音読・朗読を楽しもうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 比喻や反復などの表現の工夫に気づいている。	(1)ク, ケ
	○ 詩を音読したり朗読したりしている。	(1)ク, ケ
思・判・表	○ 情景や詩の全体像を具体的に想像したり，繰り返しやリズムの効果を考えたりしている。	C(1)エ (2)イ
	○ 詩を読み，内容をイメージしたり，自分の生き方などについて考えたりする活動をしている。	C(1)エ (2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ すぐれた叙述に目を向け，「水平線」「うぐいす」の世界を味わいながら，音読・朗読を楽しんでいる。	

【関連する既習内容】

学年		内容
	年	
	年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
水平線／うぐいす①	1	○ 「水平線」を音読し，気がついたことを発表し合う。	精査・解釈/考えの形成
		・ 海でもない，空でもない。凜として独立している。	精査・解釈/考えの形成
		・ 繰り返しのリズム感。	精査・解釈/考えの形成
水平線／うぐいす②	1	○ 「うぐいす」を音読し，気がついたことを発表し合う。	精査・解釈/考えの形成
		・ 早春の冷気に響くうぐいすの声をイメージする。	精査・解釈/考えの形成

教科

学年

教科書

上下教科書ページ

配当時数

配当月

国語

5

教出

上

14

～

31

8

4

～

4

大単元(題材名)	ー くふうされた表現をもとに、登場人物のしんじょうをそうぞうして読もう		
中単元(曲名)	いつか、大切なところ		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	B書くこと	
関連する道徳の内容項目	B親切、思いやり／友情、信頼	Cよりよい学校生活，集団生活の充実	

【到達目標】

知・技	○ 比喻や反復などの表現の工夫に気づくことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 登場人物の相互関係や心情などについて，描写をもとに捉えることができる。
	○ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり，表現の効果を考えたりすることができる。
	○ 物語を読み，内容を説明したり，自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動ができる。
	○ 事実と感想，意見とを区別して書いたりするなど，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 感じたことや想像したことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 亮太の心の揺れをとおして，「いつか，大切なところ」はどんなのかを考えようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 情景描写が心情描写に重なっているなど，表現の工夫に気づいている。	(1)エ，ク
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ，ク
思・判・表	○ 亮太と旧友たち，亮太と女の子の関係や心情など，会話や情景描写をもとに捉えている。	C(1)イ，エ　(2)イ
	○ 亮太の心情の変化を，旧友や女の子とのかかわり，情景の描写などを具体的に想像したり，表現の効果を考えたりしながら捉えている。	C(1)イ，エ　(2)イ
	○ 「いつか，大切なところ」を読み，亮太の心情変化を説明したり，自分の生き方などについて考えたことを伝え合う活動をしている。	C(1)イ，エ　(2)イ
	○ 場面ごとの亮太の心情の変化を，書き表し方を工夫してノートにまとめ，いちばん大きく変わった場面について話し合っている。	B(1)ウ　(2)イ
	○ 「いつか，大切なところ」という題名について，考えたことをまとめる活動をしている。	B(1)ウ　(2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 場面ごとの亮太の心情の変化をノートにまとめている。	
	○ 亮太がなぜ変わることができたのか考えている。	
	○ 亮太の心の揺れをとおして，「いつか，大切なところ」はどんなのかを考えている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
	年	
	年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
いつか，大切なところ①	1	○ 全文を読み，「てびき」をもとに学習計画を立てる。	見通し
いつか，大切なところ②	1	○ 登場人物と中心人物を確かめ，亮太が初めと終わりでどのように変わったか考える。	構造と内容の把握
いつか，大切なところ③	4	○ 場面ごとの亮太の心情の変化をノートにまとめ，いちばん大きく変わった場面について話し合う。	精査・解釈
		・ 29ページの「ノート例」を参考にまとめ方を工夫する。	精査・解釈
いつか，大切なところ④	1	○ 亮太がなぜ変わることができたのか，考えたことを紹介し合う。	考えの形成
いつか，大切なところ⑤	1	○ 亮太の心の動きを手掛かりに題名の意味を考え，発表し合う。	共有
		○ 31ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

教科

国語

学年

5

教科書

上下教科書ページ

教出上32

～

37

配当時数

4

配当月

5

～

5

大単元(題材名)	新聞を読もう		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	B書くこと	
関連する道徳の内容項目	A真理の探究		

【到達目標】

知・技	○ 情報と情報との関係付けの仕方，図や写真などによる語句との関係の表し方を理解し使うことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 事実と感想，意見などとの関係を叙述をもとに押さえ，新聞記事の構成を捉えて要旨を把握することができる。
	○ 説明や解説などの文章を比較するなどして読み，わかったことや考えたことを，文章にまとめたり話し合ったりする活動ができる。
	○ 学校図書館などを利用し，新聞などを活用して，調べたり考えたりしたことを報告する活動ができる。
	○ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに，事実と感想，意見とを区別して書いたりするなど，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 事象を説明したり意見を述べたりするなど，考えたことや伝えたいことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 新聞の特長，新聞記事の構成などを調べたり，2つの新聞の構成を比べたりして，興味をもって新聞を読もうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 情報と情報との関係付けの仕方，図や写真などによる語句との関係の表し方を理解し，新聞を読んでいる。	(1)エ (2)イ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (2)イ
思・判・表	○ 新聞の特長，新聞記事の構成などを理解し，新聞への興味を高めている。	C(1)ア (2)ア，ウ
	○ できごとや話題などの記事を比較するなどして読み，わかったことや考えたことを話し合う活動をしている。	C(1)ア (2)ア，ウ
	○ 学校図書館などを利用し，新聞などを活用して，調べたり考えたりする活動をしている。	C(1)ア (2)ア，ウ
	○ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど，意見や考えが伝わるように書き表し方を工夫していることがわかる。	B(1)ウ (2)ア
	○ 2つの新聞を比べ，気がついたことをノートにまとめる活動をしている。	B(1)ウ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 新聞の特長，新聞記事の構成などを調べたり，2つの新聞の構成を比べたりして，興味をもって新聞を読んでいる。	

【関連する既習内容】

学年		内容
	年	
	年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
新聞を読もう①	2	○ 新聞とは何かを知り，その特長，記事や構成などのしくみを読み取る。	構造と内容の把握
		・ 特長，記事の構成，図や写真・解説ののせ方。	構造と内容の把握
		・ 新聞について話し合う。	構造と内容の把握/考えの形成
新聞を読もう②	2	○ 新聞の構成を比べる。	構造と内容の把握
		・ 35ページの2つの新聞を比べ，違いを話し合う。	構造と内容の把握
		・ 36・37ページの新聞記事を読み比べ，気づいたことをノートにまとめ，話し合う。	構造と内容の把握/考えの形成

教科

国語

学年

5

教科書

上

38

～

39ページ

配当時数

3

配当月

5

～

5

大単元(題材名)	情報を集めて整理しましょう。		
中単元(曲名)	「情報ノート」を作ろう		
主領域／領域／内容の区分	B書くこと		
関連する道徳の内容項目	A真理の探究	C規則の尊重	

【到達目標】

知・技	○ 情報と情報との関係について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができる。
	○ 事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 興味を持って集めた情報をもとに、考えを整理して「情報ノート」を作ろうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。	(1)エ (2)ア
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (2)ア
思・判・表	○ 「情報ノート」を書くために興味のある情報を選び、分類したり関係付けたりして、伝えたいことをまとめている。	B(1)ア (2)ア
	○ 興味のある情報について、考えたことや伝えたいことを書く活動をしている。	B(1)ア (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 興味を持って集めた情報をもとに、考えを整理して「情報ノート」を作っている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
	年	
	年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
「情報ノート」を作ろう ①	1	○ 「情報ノート」を作る手順・方法をかめる。	内容の検討
		・ 38・39ページを読み、「情報ノート」を作る方法・手順をかめる。	内容の検討
		・ 興味のある情報と、そのときに思ったことなど。	内容の検討
「情報ノート」を作ろう ②	2	○ 工夫して「情報ノート」作りに取り組む。	考えの形成/記述
		・ 「情報ノート」の書き方の工夫。	考えの形成/記述
		○ 39ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

教科

国語

学年

5

教科書

上下教科書ページ

教出

上

40

～

41

配当時数

1

配当月

5

～

5

大単元(題材名)	漢字の広場①		
中単元(曲名)	漢字学習ノート		
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けて正しく書くことができる。
	○ 第5学年までに配当されている漢字を読んだり，文や文章の中で使ったりすることができる。
思・判・表	○ 筋道の通った文章となるように，文章全体の構成や展開を考えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢字の読み方（音・訓），組み立て，意味，使い方，短文例などをまとめた「漢字学習ノート」を作り，漢字への理解を深めようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 漢字の読み方（音・訓），組み立て，意味，使い方を知り，正しく書いている。	(1)ウ，エ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)ウ，エ
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢字の読み方（音・訓），組み立て，意味，使い方，短文例などをまとめた「漢字学習ノート」を作り，漢字への理解を深めている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
	年	
	年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
漢字学習ノート	1	○ 「漢字学習ノート」を作り，漢字への理解を深める。	
		・ 40・41ページを参考にする。	
		・ 読み方，組み立て，意味，言葉，文作り，豆知識など。	

教科

国語

学年

5

教科書

上

教科書ページ

46

～

55

配当時数

8

配当月

6

～

6

大単元(題材名)	二 事例と解説をもとに、言葉と事実との関係を考えよう		
中単元(曲名)	言葉と事実		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	B書くこと	
関連する道徳の内容項目	A真理の探究		

【到達目標】

知・技	○ 原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 事実と感想，意見などとの関係を叙述をもとに押さえ，文章全体の構成を捉えて把握することができる。
	○ 説明や解説などの文章を比較するなどして読み，わかったことや考えたことを，話し合ったり文章にまとめたりする活動ができる。
	○ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに，事実と感想，意見とを区別して書いたりするなど，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 事象を説明したり意見を述べたりするなど，考えたことや伝えたいことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 言葉で事実を表現したり，言葉から事実を想像したりすることについて，考えようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 言葉と事実について，事例と事例との関係から理解している。	(1)エ (2)ア
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (2)ア
思・判・表	○ 3つの事例について叙述をもとに押さえ，文章全体の構成を捉えてノートに整理している。	C(1)ア (2)ア
	○ 「言葉と事実」についての説明や解説を読み，わかったことや考えたことを話し合う活動をしている。	C(1)ア (2)ア
	○ 3つの事例とそれに対する筆者の考えを読み，考えたことや伝えたいことを書いている。	B(1)ウ (2)ア
	○ 「言葉と事実」を読んで考えたことを文章に書く活動をしている。	B(1)ウ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 言葉で事実を表現したり，言葉から事実を想像したりすることについて考えている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
	年	
	年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
言葉と事実①	1	○ 全文を読み，「てびき」をもとに学習計画を立てる。	見通し
言葉と事実②	1	○ 題名から，事実について考え，話し合う。	構造と内容の把握
		○ 事実は同じでも，表現する人の立場によって言葉が違ってくることにについて考える。	構造と内容の把握
言葉と事実③	4	○ 3つの事例についてノートに整理する。	精査・解釈
		・ 事例，起こったこと，気を配ること。	精査・解釈
言葉と事実④	1	○ 「言葉と事実」について考えたことを書き留める。	考えの形成
言葉と事実⑤	1	○ 自分の考えについて発表し合い，気づいたことを話し合う。	共有
		・ 友達がもとにした例は？ 事実の表し方についての考えは？	共有
		○ 55ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

教科

国語

学年

5

教科書

上

56

～

57

配当時数

2

配当月

6

～

6

大単元(題材名)	話し言葉と書き言葉		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	
関連する道徳の内容項目	B 親切, 思いやり／礼儀		

【到達目標】

知・技	○ 話し言葉と書き言葉との違いに気づくことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 話の内容が明確になるように, 事実と感想, 意見とを区別するなど, 話の構成を考えることができる。
	○ それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動ができる。
	○ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに, 事実と感想, 意見とを区別して書いたりするなど, 自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 事象を説明したり意見を述べたりするなど, 考えたことや伝えたいことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 相手の立場や気持ち, 相手の受け取り方を考えて話したり書いたりしようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 話し言葉と書き言葉との違いに気づいている。	(1)イ, エ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)イ, エ
思・判・表	○ 相手の反応を見ながら繰り返したり言い直したりして, 話の構成を考えている。	A(1)イ (2)ウ
	○ その場で質問したり聞きなおしたりして話し合う活動をしている。	A(1)イ (2)ウ
	○ その場にはいない人にも自分の考えが伝わるように, 文字や書き方を工夫している。	B(1)ウ (2)ア
	○ 事象を説明したり意見を述べたりするなど, 考えたことや伝えたいことを書く活動をしている。	B(1)ウ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 相手の立場や気持ち, 相手の受け取り方を考えて話したり書いたりしている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
	年	
	年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
話し言葉と書き言葉①	1	○ 話し言葉と書き言葉の違いや, 話し方から受ける印象のちがいを話し合う。	内容の検討
		・ 話し言葉と書き言葉の特徴を確かめる。	内容の検討
話し言葉と書き言葉②	1	○ ある出来事を, 教師に出す文章に書く場合と, 友達に話す場合とでどのようなことに気をつけるか話し合う。	考えの形成

教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月
国語	5	教出	上	58	4	6
				～61		～7

大単元(題材名)	三 伝わるように構成を考えよう	
中単元(曲名)	「町じまん」をすいせんしよう	
主領域／領域／内容の区分	A 話すこと・聞くこと	
関連する道德の内容項目	C 伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度	

【到達目標】

知・技	○ 比較や分類の仕方，必要な語句などの書き留め方，引用の仕方や出典の示し方を理解し使うことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 目的や意図に応じて，日常生活の中から話題を決め，集めた材料を分類したり関係付けたりして，伝え合う内容を検討することができる。
	○ 話の内容が明確になるように，事実と感想，意見とを区別するなど，話の構成を考えることができる。
	○ 意見や提案など自分の考えを話したり，それらを聞いたりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 「町じまん」を推薦するために，構成を工夫し，聞き手が納得するように話そうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 比較や分類の仕方，必要な語句などの書き留め方，引用の仕方や出典の示し方を理解し使っている。	(1)エ (2)イ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (2)イ
思・判・表	○ 「町じまん」を推薦するために，町の中から話題を決め，調べたものを関係付けて表にし，伝え合う内容を検討している。	A(1)ア，イ (2)ア
	○ 相手が納得するように，事実と感想など，話の構成を考えている。	A(1)ア，イ (2)ア
	○ 発表を聞いて自分の考えを話したり，それらを聞いたりしている。	A(1)ア，イ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 「町じまん」を推薦するために，構成を工夫し，聞き手が納得するように話している。	

【関連する既習内容】

学年	内容
年	
年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
「町じまん」をすいせんしよう①	1	○ 58ページ下段の「学習のすすめ方」を参考に，学習計画を立てる。	見通し
		○ 「町じまん」で推薦できるものを決める。	話題の設定
「町じまん」をすいせんしよう②	1	○ 決めたものを調べ，表にまとめる。	情報の収集/内容の検討
		・ 59ページ上段の「表」の各項目を参考にする。	情報の収集/内容の検討
「町じまん」をすいせんしよう③	1	○ 聞き手が納得するような構成を考える。	構成の検討
		・ 59ページ下段の「表」などを参考にする。	構成の検討
		○ 発表の練習をする。	構成の検討
「町じまん」をすいせんしよう④	1	○ 発表会を開く。	表現/共有
		○ 感想を交流する。	表現/共有
		○ 61ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

教科

国語

学年

5

教科書

教出

上

62

～

65

配当時数

5

配当月

7

～

7

大単元(題材名)	三 伝わるように構成を考えよう		
中単元(曲名)	ポスターを作ろう		
主領域／領域／内容の区分	B書くこと		
関連する道徳の内容項目	Cよりよい学校生活，集団生活の充実		

【到達目標】

知・技	○ 話し言葉と書き言葉との違いに気づくことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 筋道の通った文章となるように，文章全体の構成や展開を考えることができる。
	○ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに，事実と感想など，自分たちの考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 引用したり，図表やグラフなどを用いたりして，自分たちの考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 文章全体の構成や書き表し方などに着目して，文や文章を整えることができる。
	○ 事象を説明したり意見を述べたりするなど，考えたことや伝えたいことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ より多くの人に伝えるために，構成や表現を工夫してポスターを作ろうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 書き言葉の働き，効果について考えている。	(1)イ，エ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)イ，エ
思・判・表	○ 相手や目的に合ったポスターとなるように，全体の構成を考えている。	B(1)イ，ウ，エ，オ (2)ア
	○ 伝える相手に合わせて割り付けや文章の量，文字の大きさや色，見出しなど，ポスターの書き表し方を工夫している。	B(1)イ，ウ，エ，オ (2)ア
	○ 引用したり，図や写真などを用いたりして，伝えたい内容を工夫している。	B(1)イ，ウ，エ，オ (2)ア
	○ キャッチコピーなどを工夫して，絵や文章のバランスを整えている。	B(1)イ，ウ，エ，オ (2)ア
	○ 書いたものを読み返すなど，伝えたいことを確かめる活動をしている。	B(1)イ，ウ，エ，オ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ より多くの人に伝えるために，構成や表現を工夫してポスターを作っている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
	年	
	年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
ポスターを作ろう①	1	○ 62ページ下段の「学習のすすめ方」を参考に,学習計画を立てる。	見通し
		○ 伝えたい内容や相手を決める。	題材の設定
ポスターを作ろう②	1	○ 決めた後，取材する。	情報の収集
ポスターを作ろう③	3	○ 取材した内容をもとに，ポスターの構成を考える。	構成の検討
		・ 誰に，何を伝えたいか，伝えるための工夫。	構成の検討
		○ 構成をもとに，表現を工夫してポスターを作り，間違いを見直す。	記述
		○ ポスターを読み合い，感想を伝え合う。	共有
		○ 65ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

教科

国語

学年

5

教科書

上下教科書ページ

教出

上

66

～

71

配当時数

3

配当月

7

～

7

大単元(題材名)	声に出して読み，言葉のひびきを味わいましょう。		
中単元(曲名)	漢文に親しむ		
主領域／領域／内容の区分	B書くこと		
関連する道徳の内容項目	C国際理解，国際親善		

【到達目標】

知・技	○ 文章を音読したり朗読したりすることができる。
	○ 漢文を音読するなどして，言葉の響きやリズムに親しむことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 事実と感想，意見とを区別して書いたりするなど，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 事象を説明したり意見を述べたりするなど，考えたことや思ったことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢文の内容の大体を知るとともに，音読してそのひびきを味わおうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 漢文を音読したり朗読したりしている。	(1)エ，ケ (3)ア
	○ 漢文を音読するなどして，言葉の響きやリズムに親しんでいる。	(1)エ，ケ (3)ア
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ，ケ (3)ア
思・判・表	○ 漢詩や漢文を読んで，自分の思ったことや考えたことが伝わるように書き表し方を工夫している。	B(1)ウ (2)ア
	○ 漢詩や漢文について説明するなど，考えたことや思ったことを書く活動をしている。	B(1)ウ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢文の内容の大体を知るとともに，音読してそのひびきを味わっている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
	年	
	年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
漢文に親しむ①	1	○ 漢文の読み方や内容の大体を知る。	考えの形成
		・ 読む順序を変える，送り仮名を補う。	考えの形成
漢文に親しむ②	1	○ 気に入った漢文を選び，大体の意味を考えながら音読し合う。	考えの形成
漢文に親しむ③	1	○ いいなと思った漢詩や漢文を選び，思ったことや考えたことを書く。	考えの形成/記述

教科

国語

学年

5

教科書

教出

上下

教科書ページ

72

～

75

配当時数

2

配当月

7

～

7

大単元(題材名)	敬語		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目	B礼儀		

【到達目標】

知・技	○ 日常よく使われる敬語を理解し使い慣れることができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 敬語のはたらきや種類を知り，相手と場面に合った正しい敬語を使おうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 日常よく使われる敬語を理解し使い慣れている。	(1)エ, キ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ, キ
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ 敬語のはたらきや種類を知り，相手と場面に合った正しい敬語を使っている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
	年	
	年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
敬語①	1	○ 敬語とは何か，敬語はどのような場合に使われるかを知る。	
		・ 相手に敬意を表す言い方。	
敬語②	1	○ 敬語の種類を知り，正しい使い方を理解する。	
		・ 尊敬語，謙讓語，丁寧語	

教科

国語

学年

5

教科書

上

教科書ページ

79

～

81

配当時数

2

配当月

9

～

9

大単元(題材名)	意図をもって話を聞き、考えたことをまとめましょう。		
中単元(曲名)	知りたいことを決めて、話を聞こう		
主領域／領域／内容の区分	A 話すこと・聞くこと		
関連する道徳の内容項目	B相互理解，寛容		

【到達目標】

知・技	○ 情報と情報との関係付けの仕方を理解し使うことができる。
思・判・表	○ 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。
	○ インタビューをして必要な情報を集め、それをもとに自分の考えを発表する活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 知りたいことを決め、聞いたことをもとに、自分の考えをまとめて発表しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ テーマに沿った情報と情報との関係付けの仕方を理解し、話を聞いている。	(2)イ
思・判・表	○ 自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、聞いたことをもとに自分の考えをまとめている。	A(1)エ (2)イ
	○ インタビューをして必要な情報を集め、それをもとに自分の考えと比べながらまとめる活動をしている。	A(1)エ (2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 知りたいことを決め、聞いたことをもとに、自分の考えをまとめて発表している。	

【関連する既習内容】

学年		内容
	年	
	年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
知りたいことを決めて、話を聞こう①	1	○ 二人で組になって、尋ねたいことを決め、話を聞き合う。	話題の設定/情報の収集
		・ 聞き手は知りたいテーマを決め、メモを取りながら質問する。	話題の設定/情報の収集
		・ 話し手は質問されたことについて、わかるように話す。	話題の設定/情報の収集
		・ 80ページの話し合い、81ページの「聞き取りメモ」を参考にする。	話題の設定/情報の収集
知りたいことを決めて、話を聞こう②	1	○ 聞いたことをもとに、自分の考えをまとめ、発表し合う。	共有
		○ 81ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

教科

国語

学年

5

教科書

上下教科書ページ

教出

上

82

～

84

配当時数

2

配当月

9

～

9

大単元(題材名)	詩を味わおう		
中単元(曲名)	素朴な琴／鳴く虫／山のあなた		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと		
関連する道徳の内容項目	D自然愛護／感動，畏敬の念		

【到達目標】

知・技	○ 比喻や反復などの表現の工夫に気づくことができる。
	○ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づくことができる。
思・判・表	○ 詩の全体像を具体的に想像したり，表現の効果を考えたりすることができる。
	○ 詩を読み，内容を説明したり，自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 情景を想像したり，それが表れるように音読したりしながら，文語や歴史的仮名遣いで描かれた詩を味わおうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 比喻や反復などの表現の工夫に気づいている。	(1)ク (3)ウ
	○ 文語や歴史的仮名遣いなどの言葉の違いに気づいている。	(1)ク (3)ウ
思・判・表	○ 詩に描かれた世界を具体的に想像したり，比喻や反復などの表現の効果を考えたりしている。	C(1)エ (2)イ
	○ 詩を読み，内容を説明したり，自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動をしている。	C(1)エ (2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 情景を想像したり，それが表れるように音読したりしながら，文語や歴史的仮名遣いで描かれた詩を味わっている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
	年	
	年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
素朴な琴／鳴く虫／山のあなた①	1	○ 3編の詩について，情景を想像したり，音読したりする。	精査・解釈
		・ 文語や「歴史的かなづかい」を確かめ，正しく読む。	精査・解釈
素朴な琴／鳴く虫／山のあなた②	1	○ 3編の詩の中から，印象に残った詩を1つ選び，その詩を選んだ理由をノートにまとめ，音読する。	考えの形成/共有

教科

国語

学年

5

教科書

教科書ページ

教出

上

86

～

105

配当時数

8

配当月

9

～

9

大単元(題材名)	四 物語の全体像をとらえ、やま場の場面を見つけて読もう		
中単元(曲名)	大造じいさんとがん		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	B書くこと	
関連する道徳の内容項目	D生命の尊さ／自然愛護／感動，畏敬の念／よりよく生きる喜び		

【到達目標】

知・技	○ 語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して，語彙を豊かにすることができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり，表現の効果を考えたりすることができる。
	○ 物語を読み，内容を説明したり，自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動ができる。
	○ 目的や意図に応じて，感じたことや考えたことなど，伝えたいことを明確にすることができる。
	○ 事実と感想とを区別して書くなど，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 感じたことや想像したことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 残雪に対する大造じいさんの行動や心情の移り変わりを想像しながら読み，最後に残雪を放した大造じいさんについて考えようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 情景描写が効果的に使われていることを意識して，語彙を豊かにすることができる。	(1)エ， オ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ， オ
思・判・表	○ 大造じいさんと残雪とのかかわりを具体的に想像したり，表現の効果を考えたりしている。	C(1)エ (2)イ
	○ 最後に残雪を放した大造じいさんについて，自分の生き方などに重ねながら，考えたことを伝え合ったりする活動をしている。	C(1)エ (2)イ
	○ この物語の山場について，感じたことや考えたことを書いている。	B(1)ア， ウ (2)イ
	○ 事実と感想とを区別して書くなど，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	B(1)ア， ウ (2)イ
	○ 感じたことや想像したことを書く活動をしている。	B(1)ア， ウ (2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 大造じいさんが，がんをとらえるため立てた作戦を表にまとめ，整理している。	
	○ この物語の山場がどこか，考えている。	
	○ 残雪に対する大造じいさんの行動や心情の移り変わりを想像しながら読み，最後に残雪を放した大造じいさんについて考えている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
	年	
	年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
大造じいさんとがん①	1	○ 全文を読み，「てびき」をもとに学習計画を立てる。	見通し
大造じいさんとがん②	3	○ 大造じいさんは，がんをとらえるためにどのような作戦を立てたか，表に整理する。	構造と内容の把握
大造じいさんとがん③	1	○ 大造じいさんは残雪にどのような思いをもっていたか，また，どのように変わっていったか，理由を話し合う。	精査・解釈
大造じいさんとがん④	1	○ 情景描写の効果について話し合う。	考えの形成
大造じいさんとがん⑤	1	○ この物語の山場はどこか，そう思った理由をノートにまとめ，話し合う。	考えの形成
大造じいさんとがん⑥	1	○ 最後に残雪を放した大造じいさんについて，自分の考えをノートに書き友達と読み合う。	共有
		○ 105ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

教科

国語

学年

5

教科書

教出

上下

教科書ページ

106

～

107

配当時数

1

配当月

10

～

10

大単元(題材名)	鳥が出てくる言葉を集めましょう。		
中単元(曲名)	鳥		
主領域／領域／内容の区分	B書くこと		
関連する道徳の内容項目	C伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度	D自然愛護	

【到達目標】

知・技	○ 思考に関わる語句の量を増し，語彙を豊かにすることができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 集めた材料を分類したり関係付けたりして，伝えたいことを明確にすることができる。
	○ 事象を説明したり意見を述べたりするなど，考えたことや伝えたいことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ いろいろな種類の鳥が出てくる言葉を集め，感じたり考えたりしたことをノートに書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 鳥が出てくる言葉を集め，語彙を豊かにしている。	(1)エ，オ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ，オ
思・判・表	○ 鳥の出てくる言葉や歌，俳句や短歌をノートに集め，感じたり考えたりしたことを明確にしている。	B(1)ア (2)ア
	○ 考えたことや伝えたいことを書いている。	B(1)ア (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ いろいろな種類の鳥が出てくる言葉を集め，感じたり考えたりしたことをノートに書いている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
	年	
	年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
鳥	1	○ 鳥が出てくる言葉を集め，感じたり考えたりしたことをノートに書き，読み合う。	情報の収集/考えの形成
		・ 言葉，ことわざ・慣用句，短歌や俳句など。	情報の収集/考えの形成

教科

国語

学年

5

教科書

上

教科書ページ

108

～

111

配当時数

4

配当月

10

～

10

大単元(題材名)	ぴったりの言葉で、気持ちや様子を表現しましょう。		
中単元(曲名)	俳句を作ろう		
主領域／領域／内容の区分	B書くこと		
関連する道徳の内容項目	C伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度		

【到達目標】

知・技	○ 語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して，語や語句を使うことができる。
思・判・表	○ 目的や意図に応じて，感じたことや考えたことなどから書くことを選び，集めた材料を分類したり関係付けたりして，伝えたいことを明確にすることができる。
	○ 俳句や短歌をつくるなど，感じたことや想像したことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 気持ちや様子が伝わるように，ぴったりの言葉を選んで俳句や短歌を作ろうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して，俳句や短歌に使っている。	(1)オ
思・判・表	○ 俳句や短歌を作るために，感じたことや考えたことなどから書くことを選び，ぴったりの言葉で，気持ちや様子を表現している。	B(1)ア (2)イ
	○ 俳句や短歌をつくるなど，感じたことや想像したことを書く活動をしている。	B(1)ア (2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 気持ちや様子が伝わるように，ぴったりの言葉を選んで俳句や短歌を作っている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
	年	
	年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
俳句を作ろう①	1	○ 教材を概観し，俳句の特徴を確かめる。	見通し
		・ 秋の季語も集める。	見通し
俳句を作ろう②	1	○ 最近の心が動いたできごとから，連想する言葉を集める。	情報の収集
		○ 音に合う言葉を選び，俳句を作る。	記述
俳句を作ろう③	1	○ 友達が作った俳句や110ページの俳句を読んで，感じたことや表現の工夫について話し合う。	共有
俳句を作ろう④	1	○ 111ページの短歌を参考に短歌を作り，発表し合う。	記述
		○ 110ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月
国語	5	教出	上	112 ~ 117	6	10 ~ 10

大単元(題材名)	五 考えを広げるために、立場を決めて話し合おう		
中単元(曲名)	A I とのくらし		
主領域／領域／内容の区分	A 話すこと・聞くこと		
関連する道德の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。
	○ それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 「ミニディベート」をとおして、テーマに対する2つの対立する考え方の、それぞれの長所や短所を話し合うことで自分の考えをまとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。	(1)エ (2)ア
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (2)ア
思・判・表	○ 対立する2つの立場から意見を述べ合う「ミニディベート」を行い、考えを広げたりまとめたりしている。	A(1)オ (2)ウ
	○ それぞれの立場から考えを伝えるなどして「ミニディベート」をする活動をしている。	A(1)オ (2)ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ 「ミニディベート」をとおして、テーマに対する2つの対立する考え方の、それぞれの長所や短所を話し合うことで自分の考えをまとめている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
	年
	年

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
A I とのくらし①	1	○ 112ページ下段の「学習のすすめ方」を参考に,学習計画を立てる。	見通し
		・ 「ミニディベート」について確かめる。	見通し
A I とのくらし②	1	○ テーマを決めて、調べる。	話題の設定/内容の検討
		・ テーマについて、様々な立場からの情報を調べ、集める。	話題の設定/内容の検討
A I とのくらし③	1	○ 話し合いの準備をする。	話し合いの進め方の検討
		・ 「ミニディベートカード」に、意見や質問・反論、それに対する答えを書く。	話し合いの進め方の検討
A I とのくらし④	2	○ 「ミニディベート」を行う。	考えの形成
		・ 115・116ページを参考にする。東野さんの役割に着目。	考えの形成
		・ 117ページ「ここが大事」を参考にする。	考えの形成
A I とのくらし⑤	1	○ 感想を交流する。	共有
		○ 117ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

教科

学年

教科書

上下教科書ページ

配当時数

配当月

国語

5

教出

下6

～19

10

10

～10

大単元(題材名)	一 多様な情報を読み、根拠となる資料にもとづいて、考えを深めよう		
中単元(曲名)	世界遺産 白神山地からの提言―意見文を書こう		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	B書くこと	
関連する道徳の内容項目	C伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	D自然愛護	

【到達目標】

知・技	○ 原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 事実と感想，意見とを区別して書いたりするなど，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 事象を説明したり意見を述べたりするなど，考えたことや伝えたいことを書く活動ができる。
	○ 目的に応じて，文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけることができる。
	○ 文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えをまとめることができる。
	○ 説明や解説などの文章を比較するなどして読み，わかったことや考えたことを，話し合ったり文章にまとめたりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 白神山地の課題について，自分の考えが伝わるように，根拠となる資料を活用しながら意見文を書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

【評価規準】		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 原因と結果など情報と情報との関係について理解している。	(1)エ (2)ア
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (2)ア
思・判・表	○ 白神山地の課題を考えるために，文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけている。	C(1)ウ，オ (2)ア
	○ 「ブナの森が支える豊かな自然」や「白神山地の自然保護」などの七つの資料を読んで，自分の考えをまとめている。	C(1)ウ，オ (2)ア
	○ 白神山地の課題についての資料を比較するなどして読み，分かったことや考えたことを，話し合ったり文章にまとめたりする活動をしている。	C(1)ウ，オ (2)ア
	○ 事実と感想，意見とを区別して書いたりして，白神山地の課題について，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	B(1)ウ (2)ア
	○ 友達とお互いの考えを交流したことをもとにして，考えたことや伝えたいことを書く活動をしている。	B(1)ウ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 資料を読むことをとおして，白神山地の課題を考えている。	
	○ グループで考えを交流し，自分の考えを深めている。	
	○ 白神山地の課題について，自分の考えが伝わるように，根拠となる資料を活用しながら意見文を書いている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
	年
	年

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
世界遺産 白神山地からの提言―意見文を書こう①	1	○ 6ページ下段の「学習の進め方」を参考に，学習計画を立てる。	見通し
世界遺産 白神山地からの提言―意見文を書こう②	1	○ 白神山地について知る。	題材の設定
		・ 「ブナの森が支える豊かな自然」を読み，貴重な生き物を知る。	題材の設定
世界遺産 白神山地からの提言―意見文を書こう③	3	○ 資料を読み，白神山地の課題を知る。	情報の収集
		・ 7つの資料をもとに，白神山地の課題について，自分の考えとその根拠をノートにメモする。	情報の収集
世界遺産 白神山地からの提言―意見文を書こう④	2	○ グループで考えを交流し，自分の考えを深める。	内容の検討/構成の検討
		・ 話し合いをもとに，メモに書き足す。	内容の検討/構成の検討
世界遺産 白神山地からの提言―意見文を書こう⑤	3	○ 自分の考えをまとめ，意見文を書く。	考えの形成/記述
		・ 18ページの「意見文」「ここが大事」を参考にする。	考えの形成/記述
		・ 資料の活用，引用の仕方。	考えの形成/記述
		○ 19ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

教科

国語

学年

5

教科書

教出

上下

下

教科書ページ

20

～

27

配当時数

4

配当月

11

～

11

大単元(題材名)	昔から読みつがれている物語を読み，感想を書きましょう。		
中単元(曲名)	「古典」を楽しむ		
主領域／領域／内容の区分	B書くこと		
関連する道徳の内容項目	C伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度		

【到達目標】

知・技	○ 古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して，昔の人のものの見方や感じ方を知ることができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 事実と感想，意見とを区別して書いたりするなど，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 事象を説明したり意見を述べたりするなど，考えたことや伝えたいことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 昔から語り継がれている物語（古典）を読み，読んだ感想をまとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して，昔の人のものの見方や感じ方を理解している。	(1)エ (3)イ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (3)イ
思・判・表	○ 古典を読んだ感想など，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	B(1)ウ (2)ア
	○ 古典を読んだ感想を書く活動をしている。	B(1)ウ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 昔から語り継がれている物語（古典）を読み，読んだ感想をまとめている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
	年	
	年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
「古典」を読む①	1	○ 全文を読み，学習のめあてをつかむ。	見通し
「古典」を読む②	2	○ 「竹取物語」「平家物語」「伊曾保物語」の概略を知り，音読を繰り返す。	考えの形成
		・ 「日本の伝統芸能」について，知っていることを話し合う。	考えの形成
「古典」を読む③	1	○ 「古典」を読んだ感想をまとめる。	考えの形成/記述

教科

国語

学年

5

教科書

上 教科書ページ

教出

下

34

～

63

配当時数

6

配当月

11

～

11

大単元(題材名)	二 表現の効果を考えながら，登場人物の関わりをとらえて読もう		
中単元(曲名)	雪わたり		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	B書くこと	
関連する道徳の内容項目	A正直，誠実	D自然愛護	

【到達目標】

知・技	○ 比喩や反復などの表現の工夫に気づくことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり，表現の効果を考えたりすることができる。
	○ 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し，自分の考えを広げることができる。
	○ 物語を読み，内容を説明したり，自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動ができる。
	○ 事実と感想，意見とを区別して書いたりするなど，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 文章に対する感想や意見を伝え合い，自分の文章のよいところを見つけることができる。
	○ 意見を述べるなど，考えたことや伝えたいことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 四郎やかん子，紺三郎たちのかかわりを，比喩や繰り返し，言葉のリズムなど，表現の工夫を考えながら読もうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 比喩や反復，また五音・七音による言葉のリズムなどの表現の工夫に気づいている。	(1)エ，ク
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ，ク
思・判・表	○ 四郎とかん子，紺三郎たちとのやりとりを想像したり，情景や行動についての表現の効果を考えている。	C(1)エ，カ (2)イ
	○ 「雪わたり」の魅力を紹介した文章を読み合い，自分の考えを広げている。	C(1)エ，カ (2)イ
	○ 「雪わたり」を読み，内容を説明したり，表現の工夫について伝え合ったりする活動をしている。	C(1)エ，カ (2)イ
	○ 「雪わたり」の魅力を紹介する文章を，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して書いている。	B(1)ウ，カ (2)ア
	○ 文章に対する感想や意見を伝え合い，着目点や表現のよさを見つけている。	B(1)ウ，カ (2)ア
	○ 表現の工夫や人間ときつねの関係について，考えたことや伝えたいことを書く活動をしている。	B(1)ウ，カ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 「雪わたり」の山場はどこか考えている。	
	○ 表現の工夫とその効果を考え，紹介し合っている。	
	○ 四郎やかん子，紺三郎たちのかかわりを，比喩や繰り返し，言葉のリズムなど，表現の工夫を考えながら読んでいる。	

【関連する既習内容】

学年		内容
	年	
	年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
雪わたり①	1	○ 全文を読み，「てびき」をもとに学習計画を立てる。	見通し
雪わたり②	1	○ 物語の内容を確かめる。	構造と内容の把握
		・ 四郎とかん子が，きつねに会えるのはどんな時か。	構造と内容の把握
		・ 森の中で何が起きたのか。	構造と内容の把握
		・ 最初と最後の場面で何が変わったのか。	構造と内容の把握
雪わたり③	2	○ 物語の「やま場」はどこか考える。	精査・解釈
		○ 表現の工夫とその効果を紹介し合う。	精査・解釈
雪わたり④	1	○ 人間ときつねの関係について考えたことをメモし，話し合う。	考えの形成
雪わたり⑤	1	○ 「雪わたり」の魅力を紹介する文章を書く。	共有
		○ 友達の紹介文を読んで，着目点や表現のよさを見つける。	共有
		○ 63ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

教科

国語

学年

5

教科書

上・下教科書ページ

教出

下

64

～

67

配当時数

5

配当月

12

～

12

大単元(題材名)	「図書すいせん会」をしよう		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	B書くこと	
関連する道徳の内容項目	A真理の探究		

【到達目標】

知・技	○ 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関役立つことに気づくことができる。
思・判・表	○ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。
	○ 文章を読んでまとめた感想を共有し、自分の考えを広げることができる。
	○ 詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、伝え合ったりする活動ができる。
	○ 目的や意図に応じて、書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができる。
	○ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたり、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。
	○ 事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 「図書すいせん会」をとおして、自分の読書をふり返ったり、本のよさを友達に紹介したりしようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関役立つことに気づいている。	(3)オ
思・判・表	○ 人物像や物語などの全体像を具体的に紹介したり、表現の効果を考えたりしている。	C(1)エ、カ (2)イ
	○ 読後の感想を共有し、読書の幅を広げている。	C(1)エ、カ (2)イ
	○ 詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、伝え合ったりする活動をしている。	C(1)エ、カ (2)イ
	○ 推薦する図書に合わせて、その方法を選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。	B(1)ア、ウ、エ、カ (2)ア
	○ 推薦の内容に応じて簡単に書いたり詳しく書いたり、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	B(1)ア、ウ、エ、カ (2)ア
	○ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、紹介する内容が伝わるように書き表し方を工夫している。	B(1)ア、ウ、エ、カ (2)ア
	○ 推薦の方法や内容を伝え合い、推薦文のよいところを見つけている。	B(1)ア、ウ、エ、カ (2)ア
	○ 図書の内容を説明したり感想を話し合ったりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動をしている。	B(1)ア、ウ、エ、カ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 「図書すいせん会」をとおして、自分の読書をふり返ったり、本のよさを友達に紹介したりしている。	

【関連する既習内容】

学年	内容	
	年	
	年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
「図書すいせん会」をしよう①	1	○ 教科書を読み、「図書すいせん会」の開き方を知る。	見通し
「図書すいせん会」をしよう②	3	○ 「図書すいせん会」をするための準備をする。	題材の設定
		・ 好きな本について話し合う。	情報の収集
		・ 推薦する本を決めて内容を考える。	内容の検討
		・ 推薦の方法を決める。	内容の検討
		・ 構成や推薦の言葉を工夫する。	構成の検討/記述
「図書すいせん会」をしよう③	1	○ 「図書すいせん会」を開き、感想を伝え合う。	共有
		○ 67ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

教科

国語

学年

5

教科書

下

教科書ページ

68

～

71

配当時数

3

配当月

12

～

12

大単元(題材名)	言葉で伝える, 心を伝える		
中単元(曲名)			
主領域／領域／内容の区分	A 話すこと・聞くこと		
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 言葉には, 相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。
	○ 原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。
思・判・表	○ 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて, 話の内容を捉え, 話し手の考えを確かめながら, 自分の考えをまとめることができる。
	○ 互いの立場や意図を明確にしながら話し合い, 考えをまとめることができる。
	○ それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動を行うことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 心を伝えるために, どのような言葉を選んで話せばよいか確かめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 言葉には, 相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。	(1)ア (2)ア
	○ 話の内容によって結果が異なる場合もあることについて理解している。	(1)ア (2)ア
思・判・表	○ 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて, 話し手の考えを確かめ, 自分の考えをまとめている。	A(1)エ, オ (2)ウ
	○ 互いの立場や意図を明確にしながら話し合っている。	A(1)エ, オ (2)ウ
	○ それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動をしている。	A(1)エ, オ (2)ウ
主体的に学習に取り組む態度	○ 心を伝えるために, どのような言葉を選んで話せばよいか確かめている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
	年	
	年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
言葉で伝える, 心を伝える①	1	○ 68・69ページを読み, 二人のやりとりの問題点を話し合う。	構造と内容の把握
		・ 二人の会話を聞いて, どう思ったか。	構造と内容の把握
		・ どのような約束をすればよかったか。	構造と内容の把握
		・ どのように仲直りをすればいいか。	構造と内容の把握
言葉で伝える, 心を伝える②	1	○ 70ページを読み, 他にもあらかじめ決めておくほうがよいと思ったことはあったか考える。	考えの形成/共有
言葉で伝える, 心を伝える③	1	○ 71ページを読み, 二人はどのように伝え合えばよかったか考える。	考えの形成/共有

教科

国語

学年

5

教科書

教出

上下

教科書ページ

下

72

～

73

配当時数

1

配当月

1

～

1

大単元(題材名)	詩を味わおう		
中単元(曲名)	はたはたのうた／雪		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと		
関連する道徳の内容項目	D自然愛護／感動，畏敬の念		

【到達目標】

知・技	○ 比喻や反復などの表現の工夫に気づくことができる。
	○ 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づくことができる。
思・判・表	○ 作品の全体像を具体的に想像したり，表現の効果を考えたりすることができる。
	○ 詩を読み，内容を説明したり，自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 詩に描かれた心情や情景を味わいながら，音読しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 反復による言葉の効果やリズムなどの表現の工夫に気づいている。	(1)ク (3)ウ
	○ 歴史的仮名遣いや文語などの意味や現代の言葉との違いに気づいている。	(1)ク (3)ウ
思・判・表	○ 詩に描かれた心情や情景を想像したり，表現の効果を考えたりしている。	C(1)エ (2)イ
	○ 詩を読み，自分の生き方などについて考えたことを伝え合う活動をしている。	C(1)エ (2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 詩に描かれた心情や情景を味わいながら，音読している。	

【関連する既習内容】

学年		内容
	年	
	年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
はたはたのうた／雪	1	○ それぞれ詩を読んで，考えたことを発表し，音読し合う。	精査・解釈/共有
		・ 「はたはたのうた」では，心に響いてくることを。	精査・解釈/共有
		・ 「雪」では，描かれた情景を。	精査・解釈/共有

教科

国語

学年

5

教科書

教科書

上下

教科書ページ

教出

下

74

～

79

配当時数

6

配当月

1

～

1

大単元(題材名)	三 事実と意見を結びつけて書こう		
中単元(曲名)	提案文を書こう		
主領域／領域／内容の区分	B 書くこと		
関連する道徳の内容項目	Cよりよい学校生活，集団生活の充実		

【到達目標】

知・技	○ 文と文との接続の関係，話や文章の構成や展開について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに，事実と感想，意見とを区別して書いたりするなど，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 文章全体の構成や書き表し方などに着目して，文や文章を整えることができる。
	○ 文章全体の構成や展開が明確になっているかなど，文章に対する感想や意見を伝え合い，自分の文章のよいところを見つけることができる。
	○ 事象を説明したり意見を述べたりするなど，考えたことや伝えたいことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 自分たちの生活をよりよくするために，できることを考えて，周りの人たちに提案するための文章を書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 文と文との接続の関係，話や文章の構成や展開について理解することができる。	(1)エ，カ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ，カ
思・判・表	○ 提案したい事柄について，事実と感想，意見とを区別して書くなど，自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	B(1)ウ，オ，カ (2)ア
	○ 文章全体の構成を考えて，文章を整えている。	B(1)ウ，オ，カ (2)ア
	○ 文章全体の構成が明確になっているかなど，文章に対する感想や意見を伝え合い，よりよい文章を書こうとしている。	B(1)ウ，オ，カ (2)ア
	○ 提案の理由や内容を書くなど，考えたことや伝えたいことを書く活動をしている。	B(1)ウ，オ，カ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 自分たちの生活をよりよくするために，できることを考えて，周りの人たちに提案するための文章を書いている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
	年	
	年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
提案文を書こう①	1	○ 74ページ下段の「学習のすすめ方」を参考に，学習計画を立てる。	見通し
		・ 79ページの事柄なども参考に，提案する事柄を決める。	題材の設定/情報の収集
提案文を書こう②	1	○ 提案文の構成を考える。	内容の検討/構成の検討
		・ 「始め・中・終わり」「構成・書く内容・段落・書くこと」	内容の検討/構成の検討
提案文を書こう③	3	○ 読む人に提案したいことが伝わるように文章を書く。	考えの形成/記述
		・ 78ページ「ここが大事」を参考ににする。	考えの形成/記述
		・ 推敲する。	推敲
提案文を書こう④	1	○ 提案文を読んだ感想を伝え合う。	共有
		○ 78ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

教科

学年

教科書

上下 教科書ページ

配当時数

配当月

国語

5

教出

下

84

85

1

2

4

大單元(題材名)

漢字の広場⑤

中单元(曲名)

同じ音の漢字

主領域／領域／内容の区分

関連する道徳の内容項目

知・技	○ 文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けて正しく書くことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 意味の違いに気をつけて、同じ音の漢字を正しく使い分けて文や文章を書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 意味の違いに気をつけて，同じ音の漢字を正しく使い分けている。	(1)ウ，エ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)ウ，エ
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ 意味の違いに気をつけて，同じ音の漢字を正しく使い分けて文や文章を書いている。	

対応する学習指導要領の項目

知·技

○ 意味の違いに気をつけて、同じ音の漢字を正しく使い分けている。

(1)ウ, エ

○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。

(1)ウ, エ

思・判・表

主体的に学習に取り組む態度

○ 意味の違いに気をつけて、同じ音の漢字を正しく使い分けて文や文章を書いている。

学年		内容
	年	
	年	

学年

内容

年

年

[illegible]

教科

国語

学年

5

教科書

教科書ページ

教出

下

88

配当時数

5

配当月

2

～

101

～

2

大単元(題材名)	四「まんがの方法」とその効果について、自分の考えをもとう		
中単元(曲名)	まんがの方法		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	B書くこと	
関連する道徳の内容項目	A真理の探究		

【到達目標】

知・技	○ 語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して語や語句を使い、語彙を豊かにすることができる。
	○ 図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 目的に応じて必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。
	○ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。
	○ 説明や解説などの文章を読み、わかったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動することができる。
	○ 事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
	○ 意見を述べるなど、考えたことや伝えたいことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ まんがをおもしろくしているいろいろな「まんがの方法」について、その内容と特徴を的確におさえながら読み、まんがに対する考えを深めようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ まんがに使われる言葉に対する感覚を意識して語や語句を使い、語彙を豊かにしている。	(1)エ, オ (2)イ
	○ まんがの絵とフキダシとの関係を理解し使っている。	(1)エ, オ (2)イ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ, オ (2)イ
思・判・表	○ 表現の特徴に気をつけて、筆者の論の進め方について考えている。	C(1)ウ, オ (2)ア
	○ 「まんがの方法」を読んで理解したことについて、自分の考えをまとめている。	C(1)ウ, オ (2)ア
	○ 説明や解説などの文章を読み、わかったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動をしている。	C(1)ウ, オ (2)ア
	○ 「まんがの方法」を読む前と比べて、まんがに対する考えがどうなったか伝わるように書き表し方を工夫している。	B(1)ウ (2)ア
	○ 考えたことや伝えたいことを書く活動をしている。	B(1)ウ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ 筆者の「まんがの方法」についてノートにまとめている。	
	○ まんがに対する自分の考えを、読む前と比べて書いている。	
	○ まんがをおもしろくしているいろいろな「まんがの方法」について、その内容と特徴を的確におさえながら読み、まんがに対する考えを深めようとしている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
	年
	年

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
まんがの方法①	1	○ 全文を読み、「てびき」をもとに学習計画を立てる。	見通し
		○ 自分なりの漫画のおもしろさを考える。	事前準備
		○ 絵本や物語と比べ、まんがの特徴について話し合う。	事前準備
まんがの方法②	2	○ 筆者の「まんがの方法」についてノートにまとめる。	精査・解釈
		・ 「まんがの方法」「段落」「効果」	精査・解釈
まんがの方法③	1	○ 筆者の「まんがの方法」を紹介するときの手順について話し合う。	精査・解釈
まんがの方法④	1	○ まんがに対する自分の考えを、読む前と比べて書く。	考えの形成/共有
		○ 書いた文章を友達と読み合う。	考えの形成/共有
		○ 101ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

教科

国語

学年

5

教科書

上下教科書ページ

教出

下102

～

107

配当時数

5

配当月

2

～

2

大単元(題材名)	四「まんがの方法」とその効果について、自分の考えをもとう		
中単元(曲名)	ひみつを調べて発表しよう		
主領域／領域／内容の区分	A 話すこと・聞くこと		
関連する道徳の内容項目	A 真理の探究	Cよりよい学校生活，集団生活の充実	

【到達目標】

知・技	○ 情報と情報との関係付けの仕方，図と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 話の内容が明確になるように，事実と感想，意見とを区別するなど，話の構成を考えることができる。
	○ 資料を活用するなどして，自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。
	○ 必要な情報を集めたり，それらを発表したりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 不思議だと思うテーマに沿って資料を集め，構成や資料の示し方を工夫して「ひみつ」を発表しようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 発表の内容の配列・順序，資料などの提示の仕方を理解し使っている。	(1)エ (2)イ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ (2)イ
思・判・表	○ 話の内容が明確になるように，事実と意見とを区別するなど，話の構成を考えている。	A(1)イ，ウ (2)イ
	○ 資料を活用するなどして，自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。	A(1)イ，ウ (2)イ
	○ 必要な情報を集めたり，それらを発表したりする活動をしている。	A(1)イ，ウ (2)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ 伝えたい内容に沿ったわかりやすい提示資料を作っている。	
	○ 聞き手にわかりやすい構成を考えている。	
	○ 不思議だと思うテーマに沿って資料を集め，構成や資料の示し方を工夫して「ひみつ」を発表している。	

【関連する既習内容】

学年	内容
年	
年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
ひみつを調べて発表しよう①	1	○ 102ページ下段の「学習のすすめ方」を参考に，学習計画を立てる。	見通し
		○ 不思議だと思うテーマを見つけて，伝えたいことの内容を考える。	話題の設定
ひみつを調べて発表しよう②	3	○ 発表の準備をする。	情報の収集/構成の検討/考えの形成
		・ 104ページの「発表までの進め方」をもとに準備をする。	情報の収集/構成の検討/考えの形成
		・ 提示資料を作る。	情報の収集/構成の検討/考えの形成
		・ 構成を考える。	情報の収集/構成の検討/考えの形成
ひみつを調べて発表しよう③	1	○ 発表をする。107ページの「ここが大事」を参考にする。	表現
		○ 自分たちの発表を振り返る。	共有
		○ 107ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

教科

国語

学年

5

教科書

教出

上下

教科書ページ

下

108

～

109

配当時数

1

配当月

3

～

3

大単元(題材名)	漢字の広場⑥		
中単元(曲名)	送りがなのきまり		
主領域／領域／内容の区分			
関連する道徳の内容項目			

【到達目標】

知・技	○ 文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けて正しく書くことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 送り仮名のきまりを理解し、文や文章の中で正しく書こうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 送り仮名のきまりに気をつけて、漢字と仮名を正しく使って書いている。	(1)ウ, エ
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)ウ, エ
思・判・表		
主体的に学習に取り組む態度	○ 送り仮名のきまりを理解し、文や文章の中で正しく書いている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
	年	
	年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
送りがなのきまり	1	○ 送り仮名の付け方には、おおよそのきまりがあることを理解する。	
		・ 動きや様子を表す言葉の場合	
		・ 物の名前やことがらを表す言葉の場合	

教科

国語

学年

5

教科書

教出

下

112

~

131

配当時数

5

配当月

3

~

3

大単元(題材名)	五 みすゞをさがし求めた筆者について、考えをまとめよう		
中単元(曲名)	みすゞさがしの旅—みんなちがって、みんないい		
主領域／領域／内容の区分	C読むこと	B書くこと	
関連する道徳の内容項目	A個性の伸長／希望と勇氣，努力と強い意志	D生命の尊さ／よりよく生きる喜び	

【到達目標】

知・技	☐ 文章の構成について理解することができる。
	☐ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	☐ 登場人物の心情などについて、描写をもとに捉えることができる。
	☐ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。
	☐ 物語を読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動ができる。
	☐ 感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。
	☐ 事実と感想，意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
	☐ 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。
	☐ 意見を述べるなど、考えたことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	☐ みすゞの一編の詩との出会いから「みすゞさがし」を始めた筆者の、みすゞとその詩に対する思いや考えを読み、それに対する自分の考えを文章にまとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	☐ 文章の構成について理解することができる。	(1)エ，カ
	☐ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。	(1)エ，カ
思・判・表	☐ 「みすゞさがし」をする筆者の心情について、描写をもとに捉えている。	C(1)イ，オ (2)イ
	☐ 筆者がみすゞやその作品のどのようなところにひかれたか、自分の考えをまとめている。	C(1)イ，オ (2)イ
	☐ 「みすゞさがしの旅」を読み、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動をしている。	C(1)イ，オ (2)イ
	☐ 筆者の心情やその姿について、自分の伝えたいことを明確にしている。	B(1)ア，ウ，カ (2)ア
	☐ 事実と感想，意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	B(1)ア，ウ，カ (2)ア
	☐ みすゞを探し求める筆者についてノートにまとめたことを読み合い、自分の文章のよいところを見つけている。	B(1)ア，ウ，カ (2)ア
	☐ 筆者に対し、考えたことを書く活動をしている。	B(1)ア，ウ，カ (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	☐ みすゞとの最初の出会いから全集を出すまでのできごとを表に整理し、筆者の心情を考えている。	
	☐ 筆者がみすゞの作品のどのようなところに心をひかれたか話し合っている。	
	☐ みすゞの一編の詩との出会いから「みすゞさがし」を始めた筆者の、みすゞとその詩に対する思いや考えを読み、それに対する自分の考えを文章にまとめている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
	年	
	年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
みすゞさがしの旅—みんなちがって、みんないい①	1	☐ 全文を読み、「てびき」をもとに学習計画を立てる。	見通し
みすゞさがしの旅—みんなちがって、みんないい②	2	☐ みすゞとの最初の出会いから全集を出すまでのできごとを表に整理する。	構造と内容の把握
		☐ その表に、その時の筆者の心情を書き加える。	精査・解釈
		☐ 筆者の心情について、考えたことを話し合う。	考えの形成
みすゞさがしの旅—みんなちがって、みんないい③	1	☐ 筆者がみすゞの作品のどのようなところに心をひかれたか、文章中の作品をもとに話し合う。	考えの形成
みすゞさがしの旅—みんなちがって、みんないい④	1	☐ みすゞを探し求める筆者について考えをノートにまとめ、友達と話し合う。	共有
		☐ 131ページ「ふり返ろう」で単元の学習をふり返る。	ふり返り

教科

国語

学年

5

教科書

教科書ページ

教出

下

132

～

133

配当時数

2

配当月

3

～

3

大単元(題材名)	国語の学習		
中単元(曲名)	これまで これから		
主領域／領域／内容の区分	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	
関連する道徳の内容項目	A 希望と勇気，努力と強い意志		

【到達目標】

知・技	○ この1年の国語学習で学んだ話や文章の構成や展開，その種類と特徴について理解することができる。
思・判・表	○ 目的や意図に応じて，この1年間の学習から話題を集め，集めた材料を分類したり関係付けたりして，伝え合う内容を検討することができる。
	○ 質問するなどして情報を集めたり，それらを発表したりする活動ができる。
	○ この1年間の学習を振り返って，感じたことや考えたことなどから書くことを選び，集めた材料を分類したり関係付けたりして，伝えたいことを明確にすることができる。
	○ 調べたことをまとめて報告するなど，事実やそれをもとに考えたことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ この1年間の国語の学習をふり返りながら，これからの学習でどんな活動をしてみたいかを話し合おうとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ この1年の国語学習で学んだ話や文章の構成や展開，その種類と特徴について理解している。	(1)力
思・判・表	○ この1年，どのような国語学習をしてきたか，心に残った教材や努力した学習など，集めた材料を分類したり関係付けたりして，伝え合う内容を話し合っている。	A(1)ア (2)ア
	○ 友達の思い出について質問したり，それについて自分の考えを発表したりする活動をしている。	A(1)ア (2)ア
	○ この1年間の学習で，印象に残った学習とその理由や事例などから書くことを選び，集めた材料を分類したり関係付けたりして，伝えたいことを明確にしている。	B(1)ア (2)ア
	○ これまでの学習をまとめ，事実やそれをもとに考えたことを書く活動をしている。	B(1)ア (2)ア
主体的に学習に取り組む態度	○ この1年間の国語の学習をふり返りながら，これからの学習でどんな活動をしてみたいかを話し合っている。	

【関連する既習内容】

学年		内容
	年	
	年	

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	学習の過程
これまで これから①	1	○ この1年間の国語の学習で，どのような学習をしてきたか書き出す。	考えの形成
		・ 教科書2・3ページを参考に思い出す。	考えの形成
これまで これから②	1	○ これからどのような活動をしたいか話し合う。	共有